

アテンダントの制服 変わりました!!

当館のアテンダントの制服が5年ぶりに新しくなりました。ピンクの市松模様から秋色の落ち着いた色調へ変わりました。いかがでしょうか?

装いも一新、コロナに負けないよう元気な笑顔で皆様をお迎えいたします。



お知らせ 年間パスポート期間延長

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため休館していた期間分、年間パスポートの有効期間を延長します。詳しくはHPでご確認ください。

新商品のご紹介

維新ふるさと館の公式キャラクター「たか&とし」のグッズに加え、鹿児島の伝統工芸品や2020かごしまの新特産品コンクール入賞商品など、多数の新商品を販売しております。ぜひ当館へお越しの際は買い求めください。



- ① たか&としTODOリスト 220円
- ② たか&としメモ帳 220円
- ③ 白薩摩置物 3,300円
- ④ 紬巾着 2,750円 (すべて税込)

温故地新

ふる 故きを たず ね、地元を新たに。

■「日めくりカレンダー」作成!!

幕末・明治維新の「日めくりカレンダー」を作成しました。受付のカウンターに掲示してあります。入館の際は、「今日は何の日か?」をこのカレンダーで確認してみませんか?



■体験しやったもんせ「郷中教育」コーナーに 展示してある「薩摩拵」を更新しました



この薩摩拵は、刀剣刀装研究家の調所一郎氏(薩摩藩家老 調所広郷7代目)から調所家

に所蔵されていたものを寄託していただいているもので、今回は小柄(日本刀に付属する黄金造り小刀の柄)も展示してあります。

■県小学校社会科作品コンクールの優秀作品を 展示します

この展示会は鹿児島県小学校教育研究会社会科部会が社会科教育の発展を図るため毎年実施しているもので、いずれも力作ばかり!

展示期間は11月3日(水・祝)から11月21日(日)まで。この機会に子どもたちが夏休みに挑んだ見ごたえのある作品をご覧ください。



▲昨年の様子

新型コロナウイルス感染防止対策による休館及びイベントの中止・延期について

維新ふるさと館は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、8/14(土)から9/30(木)まで臨時休館しました。また、イベント等についても、中止または延期しております。ご来場を楽しみにしていたお客様、開催を楽しみにしていた関係者の皆様には、ご迷惑をおかけする事となり、誠に申し訳ございませんでした。

イベント・講座の開催に関しましては改めてご案内いたします。お手数ではありますが、HPでご確認をお願いいたします。



イギリス艦、鹿児島湾に現る

(鹿児島市西千石町)

維新を 歩く

文久3年6月27日(1863年8月12日)の昼、7隻のイギリス艦隊が、錦江湾に姿を現しました。昨年8月の生麦事件(久光の行列に4人のイギリス人が乗り入れ、薩摩が3人を殺傷)の犯人処罰と賠償金支払いを求めてやってきたのです。薩摩藩では、イギリス艦隊来航を予測して、軍備充実や訓練を怠らず万全の準備を進めていたので、早速あらかじめ決められた台場への城下士の招集と警護を早鐘で知らせました。1番組の大山弥助(巖・32歳)と西郷信吾(従道・31歳)は、勇んで弁天波止台場へと向かいます。12歳の山本権兵衛も必死にあとを追いかけます。弥助と信吾は、寺田屋騒動に関わって受けた謹慎処分が解け、この時こそ意気込んで駆けつけたのです。

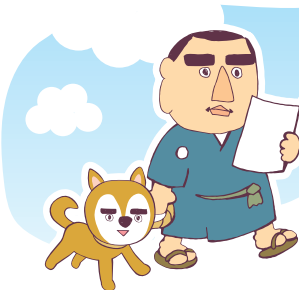
28日からの交渉では双方の意見が対立、埒があかないとみたイギリスは、7月2日、重富沖に退避した薩摩の蒸気船3隻を拿捕して交渉を有利に進めようとしてしました。これを見た薩摩は「いよいよ開戦か」と大砲を撃ちかけまし

た。イギリス軍は拿捕した3隻に火をつけると、反撃を開始しました。

最新のアームストロング砲の威力はすさまじく薩摩の砲台はことごとく破壊され、ロケット弾による攻撃で磯の硫黄倉庫から出火した炎は、折からの強風にあおられ上町方面約500戸が焼失しました。薩摩の死傷者が10数人であったのに対し、イギリス側には50人以上の死傷者が出るなど、ともに大きな被害を受けました。

9月末から江戸のイギリス公使館で和平交渉が開かれ、3回の交渉を経て、薩摩は遺族への見舞金支払いと軍艦購入を申し入れます。幕府に代わりうる存在として薩摩の力を認めたイギリスは軍艦購入の周旋を認めました。

一方、この戦争の是非をめぐるイギリス議会は紛糾。「賠償金を幕府と薩摩から二重取りしたこと及び非戦闘員である人々の家屋を焼失させたこと」に遺憾の意を表すことになり、このあとの薩英関係が良好に進む契機となりました。まさに「雨降って地固まる」結果となったのでした。(文・肥後秀昭維新ふるさと館歴史解説員)



維新ふるさと館周辺の史跡めぐり

8月8日(日)、鹿児島市内の小中学生と保護者を対象に、「維新ふるさと館周辺の史跡めぐり」を開催しました。

観光ボランティアガイドとの探索では、ここでしか聞

けないエピソードもあり、偉人たちをより身近に感じることができました。

探索の後は、維新ふ

るさと館で館内説明やドラマ視聴など盛りだくさんの内容で、参加者から

は「偉人たちの誕生や生き方を知ることができてよかった」「もっと歴史を知

りたいと思った」などの声が寄せられました。



▲観光ボランティアガイドと探索の様子



第1回 かごしま折々あそび展

8月5日(木)から四季折々の折り紙と鹿児島の昔あそびやことばあそびを紹介する、かごしま折々あそび展を開催しました。

展示には夏の装いを纏った御楼門や世界自然遺産登録を記念した奄美の動植物、大きなひまわりの花咲窓など、館の内外を行き交う人々の目を引く鮮やかな折り紙作品が並びました。8月7日(土)・8日(日)に開催



▲おりがみあそび

した折り紙体験会は多くの方にご来場いただき、大盛況のうちに終えることができました。

第2回かごしま折々あそび展は会期を変更し、12月2日(木)～1月10日(月・祝)の開催です。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



▲奄美のかわいい生き物たち



▲鮮やかなひまわりと夏の青空が映えますね

スケジュール

会期	2021年12月2日(木)～2022年1月10日(月・祝)	
12/4(土)		12/25(土) 「ことばあそび」
5(日) 「ことばあそび」		26(日) 「おりがみあそび」
11(土)		1/8(土) 「むかしあそび」
12(日)		9(日)
18(土) 「おりがみあそび」		10(月・祝) 「ことばあそび」
19(日)		

維新演劇シアター 日程変更！

毎年好評いただいております「維新演劇シアター」が今年も8月8日(日)スタートしました。第一弾は「明治維新ラブソディ」と題して、坂本龍馬を交えて西郷隆盛と大久保利通の3人が残した功績を楽しく学べる内容となりました。

今後は、上演スケジュールを変更して開催いたします。



上演スケジュール

2021年【明治維新ラブソディ2021】
11月21日(日)・28日(日) (2回)

2021年【小松帯刀の家老はつらいよ】
12月25日(土)・26日(日)・31日(金) (3回)

2022年【西郷さん・渋沢さん・パリ万博道中記】
1月2日(日)・8日(土)・9日(日)・
23日(日)・30日(日) (5回)

2022年「千秋楽3DAYS」

【明治維新ラブソディ2021】2月11日(金・祝)
【小松帯刀の家老はつらいよ】2月12日(土)
【西郷さん・渋沢さん・パリ万博道中記】2月13日(日)

〈上演時間〉

上演日の12:30～13:00 (30分間)

〈会場〉

維新ふるさと館 地階「維新体感ホール」

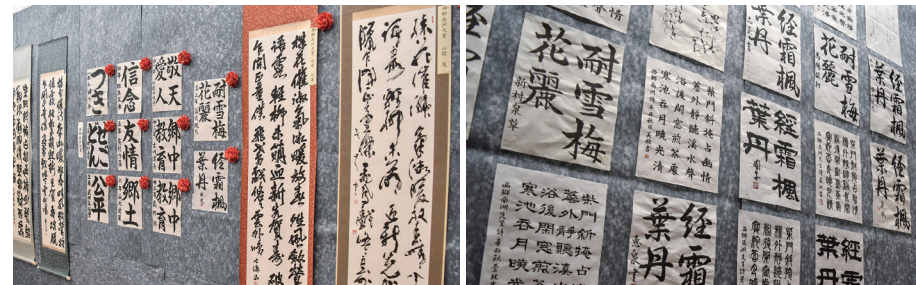
夏休み親子講座開講！

7月24日(土)、小学校高学年と中学生を対象とした夏休み親子歴史講座を開講しました。本講座は小中学生の皆さんに郷土鹿児島のことを詳しく知り、鹿児島を誇りに思う気持ちを持ってもらおうと、「銅像に見る鹿児島の歴史」をテーマに企画されたものです。学校では学べない歴史の裏話を織り交ぜた講座内容に、子どもたちはペンを片手に熱心に聞き入っていました。



第14回西郷隆盛をしのぶ維新ふるさと館書道展

10月1日(金)～10月29日(金)まで第14回西郷隆盛をしのぶ維新ふるさと館書道展を開催中です。新型コロナウイルス感染症が急速に拡大し、本書道展もその影響下にありましたが、県内外から1,695点の作品をご応募いただき大変応えのある作品が揃いました。



▲第14回展特別賞

▲堂々たる作品がずらり

イベント 史跡めぐりバスツアー

毎年、多くの方にご応募いただいておりますバスツアー。今年は「島津家発展の足跡をたどる史跡めぐり」と題して開催いたします。

島津家発展の基になった伊作島津家の足跡を中心に、当時に思いを馳せながらゆかりの地を訪ねます。



▲昨年の様子



イベント 令和3年度 維新ふるさと館 歴史シンポジウムの開催について

〈日時〉2021年12月11日(土) 13時30分～16時

〈会場〉サンエールかごしま(入場無料／定員200人)

〈テーマ〉「廃藩置県150年～廃藩置県と近代国家への歩み」

〈講師〉基調提案「版籍奉還から廃藩置県への歩みと鹿児島県の動き」(仮題)

県立開陽高等学校通信制教頭 吉満 庄司氏

〈シンポジスト〉黎明館調査史料室学芸専門員 市村 哲二氏

前維新ふるさと館特別顧問 福田 賢治氏

〈進行〉維新ふるさと館歴史解説員 肥後 秀昭氏

例年好評の歴史シンポジウムを左記の要領で実施する予定です。コロナウィルスの影響で県外からの講師招聘が難しいなか、左記の方々に出演していただきます。ふるってご応募ください。



▲昨年の様子